

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2015年1・2月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第561号

わたしは約10年前、まだ59歳の働き盛りだった夫を癌で亡くしました。その後、ホスピス医療に興味を持ち、日本パプテスト病院ホスピスで研修医として10ヶ月学ぶ機会を得ました。ホスピスには、大學生以来学び、実行してきた医療とは、全く次元を異にする医療があり、わたしにとって人の生と死を、新しい目で見直す貴重な機会となりました。その時、亡くなっていく人たちだけでなく、その家族のことが気になり始めました。大切な家族を亡くし、自宅に帰った後、それまでのホスピスタッフによる支えもなく、心身共に力を振りしぼった介護からの突然の解放、慣れない喪の行事、その後の大きな喪失感の中でどう過ごしているのだろう。そして、人は何によって悲しみが癒やされ、立ち直っていくのだろうかという大きな課題を抱くようになりました。いろいろな本を読んだり、遺族の人たちの話を聞いたりして、考えをめぐらしていたちょうどその頃、尼崎市にあった聖トマス大学で公開講座『悲嘆』について学ぶ」が始まる

ことを知りまし。幸い3期に亘って、素晴らしい講師による大変中身の濃い講座を受講することができました。グループケアの基礎的な学びから、実際に阪神大震災で幼い子どもさんを亡くされた母親が、どんな気持ちで過ごしてきたか、どうやってもう一度生きる力を得ることができたかなど、忘れることのできない話を聞くことができました。この時学んだ多くのことを基礎に、パプテスト病院ホスピス遺族自助の会「虹の会」は生まれまし。以来今日まで「虹の会」は7年以上続いていま。聖トマス大学の公開講座を企画、実行されたのが、本年2月28日に修学院フォーラムの講師として来られる上智大学グループケア研

大切な人を失ったときに

橘 俣子



究所特任所長の高木慶子さんです。09年には、高木先生は日本初のグループケア研究所を創設されました。今思うに、先生の教えなくしては、「虹の会」はなかつたでしょう。

「虹の会」の分かち合いの中で、悲しみを経た人たちが

持つ優しさ、他人の痛み、悲しみへの心からの共感が、悲嘆のただ中にある人たちにとってどんな大きな力になるかを学びまし。また、人が悲しみから立ち直るのには、何段階もの過程があることも学びまし。

大家族で生活し、地域社会が機能していた時代には、家族を亡くした人を支える仕組みはそれなりにあつたと考えられます。けれども今日、核

家族で暮らす人がほとんどで、家族の死後、たった一人残される人も少なくありません。砂のようにバラバラで隣の人すら何をしているか知らないような今日の社会では、孤独のうちに悲嘆を抱えたまま過ごす人も増えていることでしょう。愛する家族との死別ほど辛い出来事はありません。誰もがいつかは経験することとはいえ、その辛さは、経験した者でないといわれないとも言えます。一人ひとり抱く悲嘆は、死別の状況や死別した相手との関係、本人の感受性や性格、残された家族との関係などによって違っていま。

遺族は、何気ない言葉によって深く傷つけられることもあり、また優しい一言で大きな慰めを得ることもあります。もし、悲しみの中にある人に、真の友となつて寄り添うことができるなら、どんなに素晴らしいでしょう。喪失とそれに伴う悲嘆、また悲嘆の中にある人たちと、どう接したらよいかなど、高木先生からどんなお話が聞けるのか、楽しみです。

(医師)



関東活動センター

●関東フォーラム「今日的課題」シンポジウム

「徹底して弱さの上に立つ——柏木義円の生涯と思想に学ぶ」

2014年12月13日(土) 早稲田奉仕園Y.O.U.I.ホール

昨年の一二月一三日、関東運営委員会のプログラムとして、柏木義円シンポジウム「徹底して弱さの上に立つ——柏木義円の生涯と思想に学ぶ」が開催された。柏木義円は、明治後半から昭和前期にかけて、群馬県安中の地から非戦論や天皇制批判を続けた

牧師である。その主要な発表の舞台であった『上毛教会月報』は復刻されているが、その膨大な日記や書類は未公開のままだった。一つには筆書きの交じった判読の困難さが大きな壁とされて来た。それを二〇〇年にわたってコツコツと翻刻に取り組み、『柏木義円日記』(一九九八年)、『柏木義円日記補遺』(二〇〇一年)、『柏木義円書簡集』(二〇一一年)、『柏木義円資料集』(二〇一四年 いずれも行路社)にまとめたのが大阪商業大学の片野真佐子教授である。京都在住の片野教授を招いて、義円の日記や書類を読み解く中から見えて来たことを報告していただき、それに義円研究の仲間たちが応答するのが今回のシンポジウ

ムの企画である。しかし義円は有名人ではないし、またまことに地味なシンポジウムなので、どれくらいの人が参加してくれるか不安だった。いつもの三六人定員の部屋では狭すぎると考え、早稲田奉仕園のY.O.U.I.ホール(定員五〇名)を会場に準備した。ところが当日になって、次々に参加者が増え、席が足りなくなくなり、通路に補助椅子を並べ、控室にも溢れるほどで、名簿に残っているだけで七十二名の参加者であった。遠く新潟や高崎から駆け付けてくれた義円の近親者の方たちもあり、熱気あふれるシンポジウムとなったことは何よりである。今「新しい戦前」と言われるこの時代に、義円の思想と信仰が再び見直されていることを改めて確認することが出来た。三人の発題者と表題だけを紹介しておこう。「柏木義円の説教をめぐって」山口陽一(東京基督教大学)、「肉体の肯定と社会の聖化」植木献(明治学院大学)、「占領・売買春と女性キリスト者 柏木義円とジェンダー」平井和子(一橋大学講師)。

(報告・戒能信生)

謹賀新年

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正

評議員 柴橋 美穂 理事 戒能 信生

土井 健司 島田 恒

中村 信博 中井 博雅

西原 廉太 棟方 信彦

増田 琴 監事 神崎 清一

横野 朝彦 神保 正男

(五十音順)

関東活動センター 関東運営委員長 戒能 信生

所長代行 横野 朝彦

関西セミナーハウス活動センター

関西運営委員長 小久保 正

所長代行 榎本 栄次

関西セミナーハウス 経営委員長 中井 博雅

館長 シュペネマンクラウス

本部事務局 事務局長 小林 裕一

職員一同

関西セミナーハウス活動センター

●2014年度関西セミナーハウス

もみじまつり

2014年11月23日(日・祝)

共催：関西セミナーハウス

今年も関西セミナーハウス恒例のもみじまつりが、11月23日に行われた。23日は祝日なので、例年この日をもみじまつりの日としてきたが、今年はこの日が日曜日になってしまった。お茶席を担当する裏千家の方々が、毎年23日を関西セミナーハウスのもみじまつりの日として予定して下さっているのもみじまつりを他の日に変更することが難しい。その結果、キリスト教関係の方の参加が少なく残念であったが、それでも延べ450名の方が参加して下さった。

幸いにも紅葉は見頃で、風も無く薄曇りのおだやかな日和であったので、参加者は美しく山を染めた紅葉を楽しむことができた。

昨年同様、能舞台では、沢井箏曲院の岩堀敬子社中らに

より箏が奏でられ、お茶室の清心庵では北風宗照先生らにより、別館和室では藤井宗恵先生らにより、また日本庭園では、一字会の方々によりお茶が点でられ、参加者はゆつくり琴の音と、秋の草木を愛でながらお茶を楽しむことができた。

大会議室では、午後からまず野中久美子さんの能管の演奏会が開かれた。野中さんは、国際基督教大学教養学部出身であるが、幼少よりピアノやヴァイオリンなどの西洋音楽に親しみ、長じては日本の音楽に心惹かれ、能管を専門家について学ばれ、現在では日本各地はもとより、アジアやヨーロッパまでも演奏で回っておられる。そんな中間を割いて、関西セミナーハウスに来て下さり、伝統的音楽にご自分の曲も交えて、一本の

小さな竹の横笛がどんなに豊かな音色を奏でるかを聴かせて下さった。聴衆は、堂を満した。

続いて大会議室では、前京都産業大学理事長の広岡正久さんが「東方正教会の祈りの形」についてお話しされた。

広岡さんは、ロシア政治が専門の法学者で、旧ソ連時代には、モスクワの日本大使館に専門家として駐在されたこともある。4代目の日本ハリストス正教会の信者で、東方教会やロシア正教会に関する著書もある。長年に亘ってロシアだけでなく東欧諸国を訪れ収集されたアイコンを多数収蔵しておられるので、今回はそ

の一部を関西セミナーハウスに持参して、もみじまつりの前日と当日に展示して下さいると共に、アイコンの有する深い意味を語って下さった。日本では、得難い貴重な機会であったが、聴衆が多くなく残念であった。

多くの方々の協力を得て、

多くの方々に楽しんでいただけたのは、幸いであった。



プログラム案内

◆関東活動センター

■聖書を読む会「あたらしい聖書の学び」

「イエスの世界の女性たち」(全10回)

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：⑨ 2015年1月13日⑩ 2月10日、火曜 18:30～20:00

会場：早稲田奉仕園スコットホール2階222号室

参加費：1,200円/学生500円

共催：早稲田奉仕園

■聖書講座(入門編)

「まちがったっていいじゃないか!の福音書

—マルコによる福音書を読んでみましょう—(全5回)

講師：柳下明子さん(日本キリスト教団武蔵野緑教会・日本聖書神学校教授)

日時：①2015年1月15日②2月12日③3月19日、木曜14:00～15:30

会場：早稲田奉仕園セミナーハウス100号室

参加費：1,200円/学生500円(全回5,000円/学生2,000円)

共催：早稲田奉仕園

■関東フォーラム宗教対話I

「古典で読む20世紀」

第4回「S. キルケゴール『現代の批判』」

日時：2015年1月23日(金) 18:30～20:30

財団本部 http://www.academy-nippon.com
関東活動センター http://www.academy-tokyo.com
関西セミナーハウス
http://www.kansai-seminarhouse.com/
関西セミナーハウス活動センター
http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正
本部事務局
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256
関東活動センター
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館6F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com
関西セミナーハウス/
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256
関西セミナーハウス
TEL 075-711-2115
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com
関西セミナーハウス活動センター
TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org

講師：武田利邦さん(農村伝道神学校講師)

会場：早稲田教会ロビー

参加費：500円

■関東フォーラム宗教対話II

「大人に響く絵本」第4回

講師：増田 琴さん(日本基督教団巢鴨ときわ教会牧師)

日時：2月27日(金)15:00～17:00

会場：早稲田教会ロビー

参加費：500円

◆関西セミナーハウス 修学院きらら山荘

■月釜 清心会

日時：2015年2月8日(日)、3月8日(日)9:00～15:00受付(1、8月を除く年10回)

於：関西セミナーハウス

年会費：5,000円、臨時会費1,000円

◆関西セミナーハウス活動センター

■修学院フォーラム「いのち」

第2回「福祉とスピリチュアリティ—社会福祉の根源にあるもの」

講師：木原 活信さん(同志社大学社会学部教授)

日時：2015年1月24日(日) 13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：一般2,000円、学生500円

第3回「グリーンフケアを考える—人は大切なものを喪失し、なぜ悲しみ嘆くのか」

講師：高木 慶子さん(上智大学特任教授、上智大学グリーンフケア研究所特任所長)

日時：2015年2月28日(日) 13:30～16:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：一般2,000円、学生500円

■修学院フォーラム「福祉」

第3回「『葬儀と墓』は誰のために、何のために～キリスト教と仏教の立場から考える」

講師：塚本 潤一さん(頌栄短大准教授)・池口 龍法さん(浄土宗龍岸寺住職)

日時：2015年3月7日(土) 13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：一般2,000円、学生500円

賛助会費・寄付金報告

2014年11月1日～2014年11月30日
(順不同・敬称略)

◆財団本部

寄付金

日本基督教団早稲田教会 25,000

◆関東活動センター

賛助会費

市川 邦雄 5,000

神学生交流プログラム募金

市川 邦雄 5,000

久保田 愛策 5,000

◆関西セミナーハウス

寄付金

初田 勝 10,000

ヤマセイ食品 10,000

株式会社八百民 10,000

矢倉 弘泰 5,000

井上 康三郎 20,000

大原 松雄 10,000

八田 尚嘉(えんじゅ会) 10,000

岡本 仁彦 泰子 10,000

藤井 正美 10,000

株式会社祇園辻利 10,000

高橋 和子 3,000

岩堀 敬子 5,000

山崎 満 5,000

平野 賢昌 10,000

宮内 隆一 10,000

菊岡 克彦 10,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

五十嵐 万里子 3,000

森口 克洋 10,000

西脇 洸一 5,000

寄付金

保田 茂 3,000
金山 顕子 1,260
阿部 志郎 3,000
北野 宗香 5,000
林 律 10,000
松岡 由香子 2,000
京都キリスト教協議会(KCC) 20,000

もみじまつり寄付金

井上 勇一 10,000
安住 宗住 5,000
シュペネマン クラウス 11,000
浅田 涼子 5,000
林 宗一郎 5,000
中上 卯一郎 3,000
松本 圭子 5,000
中村 恭子 10,000
鳥井 清司 5,000
斉藤 洋子 1,000
竹中 百合子 2,000
(株)祇園辻利 4,000
ヤマセイ食品 10,000
中村泰洋園 中村英明 16,000
八田 尚嘉 5,000
(株)藤木工務店京都支店 10,000
長谷川 義紘 5,000
越田 宗紀 5,000
牛尾 曜子 2,000
島田 恒 9,000
小林 哲夫 5,000
社会福祉法人修光学園 5,000
魚木 アサ 3,000
亀屋良長 10,000
廣岡 正久 30,000
白方 誠彌 5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。